

政策の柱	I 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	5 都市の福祉力を高める	施策名	① 市民の福祉活動への参画促進
------	-----------------------------	----------------	--------------	-----	-----------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し
◆市民の自主的かつ積極的な福祉活動を促進するため、ボランティア養成講座を開催、また活動等に関する情報提供・相談調整を行っている。 ◆市民意識の高揚を図るため、福祉の祭典を開催し、福祉活動等の周知や啓発を行っている。	◆ボランティアセンターの登録団体数は、震災の影響もあり、増加傾向にある。 ⇒H24末も、目標値の増加数と同様の伸びが期待できるため目標達成の見込み。 ◆ボランティアセンター相談・調整件数についても、震災の影響で増加傾向にある。 ⇒東日本大震災後の市民のボランティア活動への関心の高さから、目標達成の見通し。 ◆市民福祉の祭典参加者数は、増加傾向だが目標値と実績に差がある。 ⇒事業内容等の工夫を図ることで今後も増加すると見込むが、H24末の目標達成は難しい。	101.2%	ボランティアセンターの登録団体数	団体	/	167	168	169	170	171	101.2%
			ボランティアセンターの相談・調整件数	件	164	165	163	170	173	172	100.6%
			市民福祉の祭典参加者数	人	8,030	9,634	9,242	9,302	10,000	9,400	100.2%
					8,500	10,200	11,900	13,600	15,300	17,000	58.8%
課題	◆ボランティアセンターの登録団体数や相談・調整件数の増加傾向から活動に対する関心度・認知度が高まりつつあるが、ボランティア育成や需要と供給のマッチングに課題がある。 ◆福祉のまちづくり事業の表彰募集に対する応募件数が伸び悩んでいる。 ◆福祉の祭典参加者数について、目標達成に向けた参加者数の増加が課題となっている。		市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22	H23		
			重要度		62.1	63.6	64.0	68.8		%	
			満足度		25.0	21.3	17.3	28.2		%	

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)					重点度(A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
再掲	やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり事業	すべての市民	H13	表彰の募集に対する応募件数	件	30	30	30	30	30	-	継続	市民・事業者の優れた取組等を表彰することは、意識の高揚や活動等の普及啓発につながる有効な手段であるため、継続実施していく。
再掲	市民福祉の祭典	すべての市民	H19	参加者数	人	10,200	11,900	13,600	15,300	17,000	-	継続	本市の総合的な福祉イベントとして市民意識の高揚を図る良い機会であるため、より多くの市民が参加しやすいような事業内容となるよう、各団体と連携協力し、継続して実施していく。
再掲	こころのユニバーサルデザイン推進事業	すべての市民	H20	障がい者シンボルマーク等認知度	%	34.8	37.4	40.0	42.6	45.2	-	継続	市や地区イベント等における啓発用チラシの配付、市及び民間公共施設への啓発ポスターの掲示、児童・生徒を対象としたポスターコンクール開催など、様々な周知啓発活動の展開により、市民の福祉意識の高揚を図る。